

早鞆中学校だより

校訓 ～ 自主・自律 協同 友愛 ～



【学力特集号】

北九州市立早鞆中学校 校長 上田 あけみ（平成30年11月6日）

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、理科）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

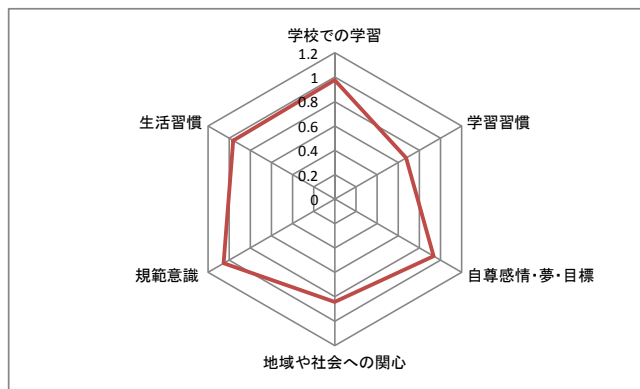
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的には、全国平均正答率をやや下回っているが、「読むこと」に関する問題の正答率はやや上回っている。 ・「言語に関する知識・理解・技能」に関することに課題がある。	下回っている
国語B	・全体的には全国平均正答率をやや下回っているが、「話すこと」「聞くこと」に関する問題の正答率はやや上回っている。 ・「書くこと」に関することに課題がある。	下回っている
数学A	・全体的には全国平均正答率をやや下回っているが、「資料の活用」の領域に関する問題は、比較的よくできている。 ・全国平均に比べて記述問題の無回答が多いが、選択問題に関しては無回答率がほぼ0%である。	下回っている
数学B	・全体的には全国平均正答率をやや下回っており、どの領域においても記述問題の無回答率が高い。 ・A問題で正答率の高い「資料の活用」が記述問題になると正答率が下がるという課題が明らかになった。	下回っている
理 科	・全体的には全国平均正答率をやや下回っているが、「地学的領域」の問題は上回っている。 ・「科学的な思考・表現」を問う問題に課題がある。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・「家庭学習を1日当たり60分以上行う」と回答した生徒の割合が、全国平均よりも下回っている。
- ・規範意識はとて高く、全国平均を大きく上回った。
- ・「将来の夢や目標を持っている」について、肯定的な回答をした生徒の割合が、全国平均よりも下回っており、昨年度よりもやや減少した。それぞれの夢を実現させるための具体的な目標を設定することで、実際の行動に結びつけることができるようにする。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 授業では、学級の友達との間で「話し合う活動」や学習内容を「振り返る活動」を積極的に行う。
- 板書やプリント等で、学習内容を整理したり、まとめたりすることで、学習内容の定着を図る。
- 学力定着サポートシステム等を活用する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 早鞆ノートを活用した家庭学習が定着してきたので、今後も継続して取り組む。
- 学校だよりや学級通信、学校ホームページ等で、全国学力・学習状況調査の結果の分析等を保護者へ周知・徹底し、家庭との協力体制を整えて、家庭学習をさらに充実させる。